

詳細 取扱説明書

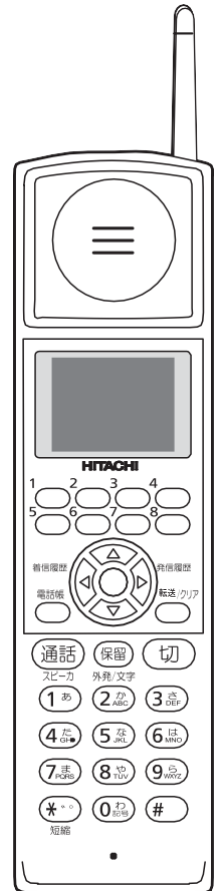
子機編

デジタル波

ハンドルコードレス 多機能電話機

HI-G-TEL

技術基準適合認証品



このたびは、お買い上げいただきまして
まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- この取扱説明書は子機を中心に説明しています。親機の取扱いについては「詳細取扱説明書 親機編」をご覧ください。
- お読みになったあとは、いつでも見ることのできる場所に保管してください。

「安全のために必ずお守りください」
(P.2~4)をお読みいただき、正しく
お使いください。

ご使用の前に

この説明書では、子機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使っています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

●各事項は以下の区分に分けて記載しています。

 危険	本表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	本表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	本表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物理的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示の意味は次のようになっています。

	△記号は注意(警告も含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。(左図の場合は「感電注意」です)
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は「分解禁止」です)
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。(左図、上の場合「電源プラグをコンセントから抜く」、下の場合は「必ず実施」です)
	補足説明です。電話機に関する内容が記載されています。
	電話機のメニュー操作や登録する際の注意を喚起しています。

安全のために必ずお守りください

ご使用にあたり次の内容をよくお読みください。

危険

- ・充電は、専用の機器で充電してください。その他の充電条件で充電すると、充電電池が漏液、発熱、破裂する原因となります。
- ・充電電池は、プラス(+)とマイナス(-)の向きが決められています。子機に接続するときは、プラス(+)とマイナス(-)の向きを確かめてください。充電電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- ・充電電池単体では充電をしないでください。充電電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- ・充電電池は本子機専用です。それ以外の機器には使用しないでください。充電電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。
- ・充電電池を使用する場合は、次のことを必ず守ってください。充電電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。
 - 火の中に投入したり、加熱したりしない。
 - 直接はんだ付けしない。
 - プラス(+)とマイナス(-)を針金などの金属類で接触しない。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
 - 釘を刺したり、ハンマーで叩いたりしない。
- ・充電電池を分解、改造しないでください。充電電池には危険防止のための保護機能が組み込まれています。これらを損なうと充電電池の漏液、発熱、破裂の原因となります。
- ・充電電池内部の液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- ・電池カバーを取り付けるときは、充電電池のリード線を挟まないようにしてください。リード線が破損すると充電電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。

警告

- ・親機および子機に水が入らないように、またぬらさぬようにしてください。火災・感電の原因となります。
- ・親機および子機の内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、親機は回線コードを抜き、子機は充電電池を抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・親機および子機の上やそばに、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。液体や異物が入った場合、火災・感電の原因となります。
- ・風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・親機および子機をぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- ・親機および子機を絶対に分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・充電端子を金属でショートさせないでください。火災・故障の原因となります。
- ・親機および子機内部に水などが入った場合は、親機は回線コードを抜き、子機は充電電池を抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・親機および子機から煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに親機は回線コードを抜き、子機は充電電池を抜き、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- ・親機および子機のキャビネットを破損した場合、親機は回線コードを抜き、子機は充電電池を抜いてから販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・親機を病院内などで設置される場合には、医用電気機器に電波による影響を与えることも考えられますので、医用電気機器への影響がないことをあらかじめご確認ください。
- ・子機を病院内などでご使用される場合には、医用電気機器に電波による影響を与えることも考えられますので、医用電気機器の近く（例えば、手術室や集中治療室内など）では充電電池を取り外すか持ち込まないでください。
- ・充電電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので直ちにきれいな水で洗い流してください。

注意

- ・親機を壁掛け用に取り付ける場合は、親機の重みにより落下しないようしっかり取り付け・設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
- ・調理台や加湿器のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、親機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- ・親機および子機を熱器具に近づけないでください。親機および子機が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ・親機および子機を直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのためにいちじるしく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- ・親機の充電端子部分に、クリップ・安全ピンなどの金属類を置かないでください。端子がショートし火災・感電・熱発生によるやけどの原因となることがあります。
- ・親機および子機の充電端子（金属部分）は充電のための大切な部分です。水などのついた手で充電端子に触れないようにしてください。充電不良などの故障の原因となることがあります。
- ・アンテナを誤って目に刺さないようにしてください。
- ・子機内蔵の充電電池は、必ず専用のものを使用してください。また充電電池は、火の中に投入したり、分解や加熱しないでください。火災・やけどの原因となります。
- ・充電電池を子機に挿入するときは、コネクタの向きに注意し、正しく入れてください。正しく接続しない場合は、充電電池の破損、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。
- ・長時間ご使用にならないときは、子機の充電電池を取り出してください。
- ・お客様の判断で親機の接続を変えないでください。火災・故障の原因となります。

安全のために必ずお守りください

お願い

次の内容を無視して、誤った取扱いをすると、本電話機の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねくことがありますのでご注意ください。

- ・交換機の電源が切れると使用できません。
- ・親機および子機は、次のような場所への設置は避けてください。故障・誤動作の原因となります。
 - ちり・ほこりの多い場所。 ●鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
 - 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
 - テレビ・ラジオ・電気こたつ・アンプ・スピーカボックス・電子レンジ・電気カーペットの上や、家庭電化製品のそばなどで磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所及び高周波ウェルダや電気溶接機の近く。やむをえず設置する場合は、最低2m以上離してください。
 - 衝撃・振動のある場所。
 - 違法電波を受ける場所や放送局の近く、アマチュア無線、CB無線などの電波の強いところ。
 - 高周波を発生する機械設備(高周波溶接機、高周波ミシン、ワイヤーカッターなど)や電気溶接機のあるところ。
 - 蛍光灯の近くやブレーカの入/切するところ。
 - パソコン・ワープロなどOA機器の近く。
 - マイコンを搭載した機器の上、またはすぐ近く。
 - 親機と子機間の見通しの悪いところ。
- ・高温、多湿、低温の場所には置かないでください。よい条件でお使いいただける環境は下記の範囲です。
 - 温度 0~40℃、湿度 20~85%
- ・机や椅子で回線コードを踏みつけたりしますと電話機が使えなくなるなどの障害が発生しますので、机の移動などには十分注意してください。万一、障害が発生した場合は販売店までご連絡ください。
- ・硫化水素の発生する場所(温泉地など)や塩分の多いところ(海岸など)でお使いのときは、親機および子機の寿命が短くなることがあります。
- ・親機および子機を落としたり、強い衝撃及び振動を与えないでください。故障・誤動作の原因となります。
- ・親機および子機をベンジン・シンナー・石油・熱湯などで絶対にふかないでください。変色や故障の原因となります。布等でからぶきしてください。
- ・親機を金属やコンクリートの壁などの近くに設置しますと通信障害を起こすことがありますので避けてください。
- ・本電話機を複数台設置する場合はお互いに2m以上離してご使用ください。
- ・子機をお使いになる場合、親機のアンテナを立ててお使いください。
- ・アンテナに物をあてたり、無理な力を加えないでください。曲がったり折れてしまうことがあります。
- ・子機は充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実に親機に置いてください。なお充電は、子機を親機に置くだけで行われます。
- ・近くを車、オートバイが通ると雑音、通話切れなどが発生することがあります。
- ・歩きながら使用すると位置や向きによってノイズが入ることがあります。
- ・コンクリート壁や金属製の扉などで通話到達距離が短くなる場合があります。
- ・電話をかけたり、応答したりするときコールコード付き電話機よりも2~3秒間遅れることがあります。なお、電波環境によってはそれ以上遅れる場合もあります。
- ・本電話機は不法改造を防止するため、一体構造が義務付けられており容易には分解できません。(万一商品に不都合がある場合は「故障かな?と思ったら」をご覧ください)をご覧ください。
- ・子機が充電切れのときは「充電電池の充電のしかた」を参照してください。
- ・各種機能等の追加および変更について、次のような場合は、別途料金が必要になります。
 - 現在ご利用いただいている各種機能を変更される場合。
 - 新たにオプションをご利用になる場合。(オプションは別売となっております)
- ・通話が終わったら必ず[切]ボタンを押して通話ランプが消えているのを確認してください。[切]ボタンを押さないと子機は無線でつながった状態を継続し、着信せず充電電池を消耗してしまいます。

子機の通話はマルチチャネルアクセス(複数の電波を利用する技術)によって、通話の内容を傍受されにくくしてあります。しかし、第三者が特殊手段を講じた場合は盗聴を完全に防ぐことはできません。機密を要する重要な通話は、コールコード付きの電話機をご使用いただくことをお勧めします。

目次

ご使用の前に.....	2	3. 子機の電話帳を使う.....	23
安全のために必ずお守りください.....	2	電話帳を登録する.....	23
1. ご使用にあたって.....	6	文字入力方法.....	24
概要と特長.....	6	全検索で相手を表示させる.....	26
各部の名称とはたらき.....	8	名称検索で相手を表示させる.....	26
各種状態表示・鳴動一覧（子機/親機）.....	9	グループ検索で相手を表示させる.....	27
日時表示について.....	9	電話帳で電話をかける.....	28
電話機の立ち上げについて.....	9	電話帳を修正／消去する.....	29
通話距離を正しく確保するために.....	10	登録した内容を修正する.....	29
通話圏外警報機能について.....	10	登録した電話帳を消去する.....	29
置き忘れた子機をさがす.....	10	親機の電話帳を子機に転送する.....	30
充電電池について.....	11	親機の電話帳を子機に転送する.....	30
子機の充電警報について.....	11	電話帳の登録残件数を表示する.....	31
充電端子のお手入れについて.....	11	電話帳の登録残件数を表示する.....	31
充電電池の取り扱いについて.....	11	4. いろいろな設定・登録.....	32
停電のとき.....	11	ボタンを押したときの音を設定する.....	32
充電電池の取り付け方（交換のしかた）.....	12	電話番号の表示方法を設定する.....	32
充電電池の取り付け方（交換のしかた）.....	12	機能を選択する.....	32
充電電池の充電のしかた.....	12	電話をすばやく受ける（クイック通話）.....	33
音量・ディスプレイの調節.....	13	受話音高域カット機能を設定する.....	33
子機の着信音量の調節.....	13	子機の機能を選択する.....	34
子機の受話音量の調節.....	13	外線発信特番ボタン（外発ボタン）について.....	34
子機のスピーカ受話音量の調節.....	14	お買い上げ時の設定に戻す（リセットする）.....	35
子機のディスプレイの調節.....	14	お買い上げ時の設定に戻す（リセットする）.....	35
2. 基本的な使い方.....	15	5. その他・ご参考.....	36
親機の使い方.....	15	停電のときのご注意.....	36
外線に電話をかける.....	15	故障かな?と思ったら.....	36
外線ボタンを押してかける.....	15	電話をかけるとき.....	36
電話番号を表示してからかける（プリセットダイヤル）.....	15	電話がかかってきたとき.....	37
外線からの電話を受ける.....	16	通話をしているとき.....	38
通話ボタンを押して電話を受ける.....	16	全般.....	38
外線ボタンを押して電話を受ける.....	16	設置場所について.....	39
通話を保留する.....	17	充電について.....	39
自己保留を解除して応答する.....	17	主な仕様.....	39
保留する（自己保留）.....	17		
通話を他の人に転送する.....	18		
内線に転送する.....	18		
自分がかけた相手の方に向け直す（発信履歴）.....	19		
発信履歴から電話をかける.....	19		
電話をかけてきた方に向け直す（着信履歴）.....	20		
着信履歴から電話をかける.....	20		
内線に電話をかける.....	21		
通話ボタンを押してかける.....	21		
音声による呼び出し.....	21		
内線番号を表示してからかける（プリセットダイヤル）.....	21		
内線からの電話を受ける.....	22		
内線の着信に応答する.....	22		

1. ご使用にあたって

概要と特長

- この電話機は、デジタルコードレス電話機専用の無線電波（周波数1.9GHz）を使用した、マルチチャンネル(37通話チャンネル、2制御チャンネル)アクセス[MCA]方式のチャンネル切替方式無線電話機です。
- この電話機は秘話機能(盗聴防止)を採用していますので盗聴が非常に困難です。安心して通話していただけます。ただし、第三者が特殊手段を講じた場合、完全に防止することはできません。
- 通話距離は小電力タイプのデジタルコードレス電話機ですので、親機と子機が直線距離(見通しのよい場合)で約100m離れても通話ができます。環境により変化します。
- この電話機で使用している電波は光に近い直進性をもっています。そのため、アナログタイプのコードレス電話機よりも電波が届かない場合があります。ご使用を開始する前に、電波の届く範囲を確認して親機の設置位置を決定してください。なお、配線の変更が必要な場合は、販売店にご依頼ください。
- 建物の構造が鉄筋コンクリートの場合や、金属製家具などの近くでは、電波が届きにくくなります。
- 複数台設置する場合は、各親機の間隔は2m以上としてください。電波の状況によっては、さらに離す必要がある場合があります。以上が守られない場合は電波干渉や誘導により、“通話が途中で切れる”、“通話中に雑音が入る”、“時々応答できない”、“時々着信鳴動しない”、“時々圏外表示になる”などが起こることがあります。
- この電話機は、事業所用PHSシステムや一部の家庭用デジタルコードレス電話機と同じ周波数の電波を使用しています。このため、1システム内で混在して使用する場合は「時々応答できない」、「時々着信鳴動しない」、「時々圏外表示になる」などの現象が起こることがあります。これは次のような仕様によるものです。なお、「時々応答できない」、「時々発信できない」場合は[通話]ボタンのランプが消えた状態になったら、一度[切]ボタンを押してから[通話]ボタンを押せば、無線接続が再試行されます。
- ・親機と子機間の発着信などの情報のやり取りは、まず制御チャンネルで行われ、その後実際に情報のやり取りを行う通話チャンネルに移行します。この制御チャンネルは2チャンネルであり、事業所用PHSシステムの基地局や本電話機間などで共用しています。
- ・事業所用PHSシステムにおいて、各基地局は百数十ミリ秒間隔の中で子機との通信を行うタイミングが互いに重ならないように制御しています。しかし、この電話機と家庭用デジタルコードレス電話機は独自の通信タイミングで制御するため、電波の混み合った場所に設置されている場合、制御チャンネル上で互いの通信がぶつかり、接続が遅れたり接続できないことがあります。具体的には“時々応答できない”、“時々発信できない”、“時々着信鳴動しない”、“時々圏外表示になる”などの現象が起こることがあります。なお、“時々応答できない”、“時々発信できない”の場合に、[通話]ボタンのランプが消えた状態になっていたら、一度[切]ボタンを押してから[通話]ボタンを押すと無線接続のリトライを行います。
- ・事業所用PHSシステムの基地局とは無線の同期を行い、お互いに干渉を起こさないようにしています。しかし、相互の影響が完全になくなるわけではありません。
- この電話機とアナログタイプのコードレス電話機（合計12台まで）を混在させることは可能です。ただし、この電話機の親機とアナログタイプの親機との間隔は4m以上としてください。電波の状況によっては、さらに離す必要があります。
- 充電端子のお手入れは、きれいな水、または市販のエチルアルコール（薬局等で市販）かクリーニング液（カセットデッキのヘッドクリーニング用液）を含ませたきれいな布で、子機、親機および充電器の端子を拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。（月に一度はお手入れしてください）

●通話できる範囲から外れたときは（圏外）…

親機から離れていると、子機の表示部のが消え、電話をかけることができません。電話をかけるときは、親機に近づきます。（または、「」）が表示されてから、電話をかけてください。また、通話中に通話できる範囲から外れたときは、音声は切れ、「ブブブ」と警報音が鳴ります。

●圏外のときに電話がかかってきたときは…

電話に出ることはできません。また、電話をかけた相手の方には呼出音が聞こえたままとなります。交換機に応答遅延呼監視、不応答転送を設定しておく、着信への応答が設定時間より遅延した場合に着信を迂回させることができます。

●お話中に充電電池の残量がなくなったときは…

「ピピピ」という警報音が鳴り、表示部に「充電してください」というメッセージが現れます。その後、通話が切れます。

●親機が2台以上あるときは…

各親機の間隔は2m以上としてください。

●通話が終わったら…

子機での通話が終わりましたら、必ず[切]ボタンを押して終了するか、親機に戻し充電してください。[切]ボタンを押さなかったり、親機に戻さないと無線はつながったままとなります。電話がかかってきても呼び出しができなくなり、充電電池の消耗も早くなります。

特番について

この電話機が接続されている交換機は「特番」機能を使用できるようになっています。特に、外線発信特番、専用外線発信特番などは発信ルートを指定する重要な「特番」で、自動的に空いている回線を選択します。交換機を経由して外線へ接続するための電話番号は下記のような並びになります。

「外線発信特番」	+	「市外局番」	+	「電話番号」
↓		↓		↓
“0”		“03”		“1234-5678”

（注意：交換機の設定によっては外線発信特番が“0”ではない場合がありますので管理者に確認ください）

この電話機の子機では、「特番」について下記のような取り扱いがあります。

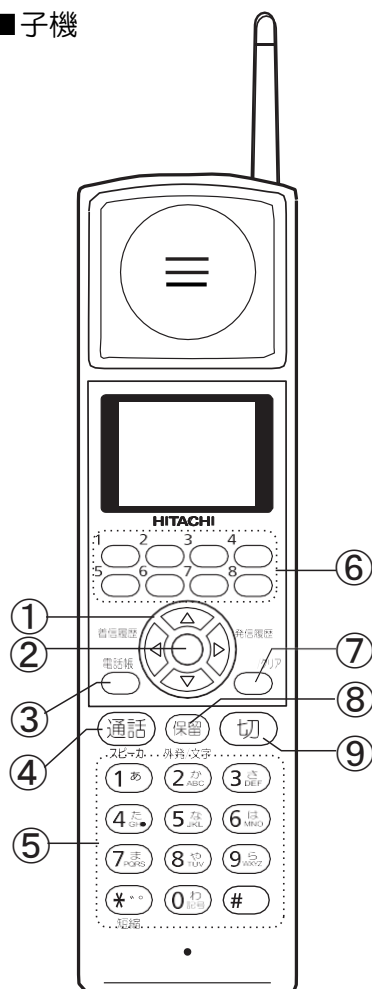
- [保留]（外発/文字）ボタンを押して発信すると、外線発信特番を付加して発信ができます。電話帳や発信履歴に外線発信特番が付いていない場合でも外線に発信ができます。このボタンを使ってかけた後の発信履歴には、外線発信特番が付加されて記憶されます。なお、子機の外線発信特番（初期値：“0”、0～9の1桁だけ登録可能）と交換機の外線発信特番の設定が同じであることが必要です。
- 空いている外線ボタンを押すことで、外線発信特番を付加しなくても外線に発信できます。電話帳や発信履歴に外線発信特番が付いていない場合でも外線に発信ができます。このボタンを使ってかけた後の発信履歴には、外線発信特番が付加されずに記憶されます。なお、フリーファンクションボタンに外線ボタンが割り当てられていることが必要です。子機のフリーファンクションボタンは、親機のフリーファンクションボタン1～8に対応しています。
- 電話帳や発信履歴から電話番号を選択して[通話] ボタンを押して発信すると、電話帳や発信履歴に外線発信特番などが付いている場合、そのままの番号で発信ができます。

以上のように、発信する電話帳や発信履歴の特番の付加状態を確認しながら、外線発信特番を付加して発信する[保留]（外発/文字）ボタン、外線発信特番を付加せず外線へ発信する外線ボタン、およびそのまま発信する[通話] ボタンを使い分けてください。

1. ご使用にあたって (つづき)

各部の名称とはたらき

■子機



① 十字ボタン

発着信履歴の表示や、メニュー選択、音量調節、文字の変換などに使用します。

② 決定ボタン

メニューを表示するときや、画面に表示された項目を決定するときに使用します。待機時に、長押しでキーロックのON/OFFを切り替えることができます。

③ 電話帳ボタン

電話帳を使用するときに押します。

④ 通話／スピーカボタン(ランプ)

通話を始めるときに押します。長押しでスピーカ受話ができます。通話状態で赤点灯、スピーカ受話で緑点灯します。

⑤ ダイヤルボタン

電話番号や文字を入力するときに押します。また、メニューが表示されているとき、番号で項目を選択することもできます。

⑥ フリーファンクションボタン(ランプ)

交換機のデータ設定により、外線／プログラマブルキーに割り当てて使用します。2色(赤/緑)のランプで表示します。

⑦ 転送／クリアボタン

他の外線番号に転送するとき、通話中に押します。また、文字入力中の文字クリア、メニュー画面でのクリアなどで使用します。

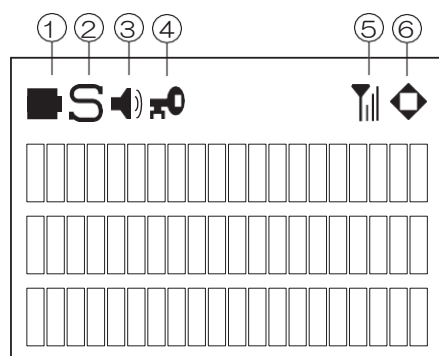
⑧ 保留／外線発信／文字ボタン

通話中に保留するときに押します。待機時は外線発信ボタンとして機能し、自動的に空いている外線を選んで発信します。文字入力中は入力モードを選択するときに押します。

⑨ 切ボタン

通話を切るときや、着信音を一時的に停止するとき、登録や設定を中止するときに押します。

■表示部(ディスプレイ)



記号	種類	意味
①		現在の電池残量です。

記号	種類	意味
②		着信音量が「切」になっています。
③		スピーカ受話中です。
④		キーロック状態です。
⑤		電波が強い ↑ 圏内時の受信レベルです。 ↓ 電波が弱い
⑥		有効なカーソル移動方向です。

各種状態表示・鳴動一覧（子機/親機）

電話機の状態	鳴動方法	ランプ表示	説明
充電中	—	親機充電中ランプ点灯	—
通話中	—	子機通話ランプ点灯 子機外線ランプ点灯	無線接続が成功すると、 通話中と表示されます。
通話中 圏外警報	子機警報音（受話器） プププ・・・プププ	—	通話圏外に出たことを示し ます。警報が続くと電話は 切れます。親機に近づいて 通話してください。
通話中 要充電警報	子機警報音 ピピピ	子機ディスプレイ 「充電してください」表示	充電してください。そのまま 通話を続けると自動的に通話 を切断します。
外線/内線着信	着信音が鳴動	子機通話ランプ点滅 子機外線ランプ点滅	—
親機から子機 呼び出し中	子機連続着信音	親機ディスプレイ 「子機呼出し中」表示	親機の呼出操作により離れ た子機を呼び出します。 （通話はできません）

※親機のランプ種類と表示は、付属の親機用取扱説明書をご覧ください。

日時表示について

- はじめてお使いになるときや、充電電池の交換を行ったときはディスプレイに何も表示されなくなります。そのときは一度通話または着信動作を行ってください。回線コードを差し込んでから数十秒経過後に行ってください。差し込んでからすぐ行くと誤った表示をすることがあります。
- 子機は通話を行うたびに親機から最新の日時、時刻、内線番号を受け取ります。
- 長時間、子機で発信または着信動作が行われないと親機と時間誤差が生じる場合があります。そのときは一度通話または着信動作を行ってください。
- 子機では、うるう年には対応しておりません。一度通話または着信動作を行って親機から日時データなどを受け取ってください。
- 子機の時刻表示はあくまで目安としてご利用ください。
- 日時表示以外は、交換機で内線番号などの登録を行わないと子機には表示されません。

電話機の立ち上げについて

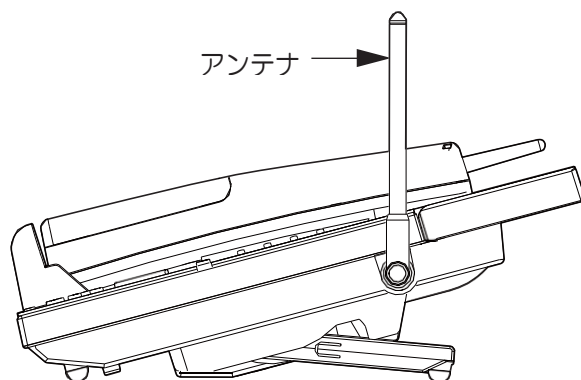
- この電話機は、交換機の電源を入れたときや回線コードを差し込んだときに、使用可能になるまで数十秒程度時間がかかることがあります。これは、この電話機が無線を使用しているためで、同一システムに複数台設置されたこの電話機や事業所用PHSシステムの基地局と干渉を避けるように自動調整を行っているためです。

1. ご使用にあたって (つづき)

通話距離を正しく確保するために

親機のアンテナは垂直に立てて使用してください。

親機を置く場所は、金属製の家具の近くをなるべく避け、高さ50cm以上のところに置き、アンテナが周囲の壁から50cm以上離れるように設置するのが理想です。アンテナを立てていなかったり、壁の近くにすると、通話到達距離が短くなることがあります。



ご注意

- アンテナに物をあてたり、無理な力を加えると曲がったり、折れてしまうことがあります。

通話圏外警報機能について

通話中、子機と親機が離れすぎると子機より「プププ」という警告音が鳴ります。警告音が続くと通話は切れます。警告音が鳴り始めたら親機に近づいて警告音の鳴らない範囲でお使いください。使用している環境によっては、警告音が鳴らずに雑音がひどくなり、通話が切れることがあります。

置き忘れた子機をさがす

子機をどこかに置き忘れてしまったとき、子機が待機状態であれば親機から子機を呼び出すことができます。ただし、親機と子機との間で通話することはできません。

- ① 親機の  を押す。

電話機メニューから次の操作をしてください。

- ② 「3 電話機設定 1」を選び  を押す。

- ③ 「4 拡張機能」を選び  を押す。

- ④ 「3 子機呼び」を選び  を押す。

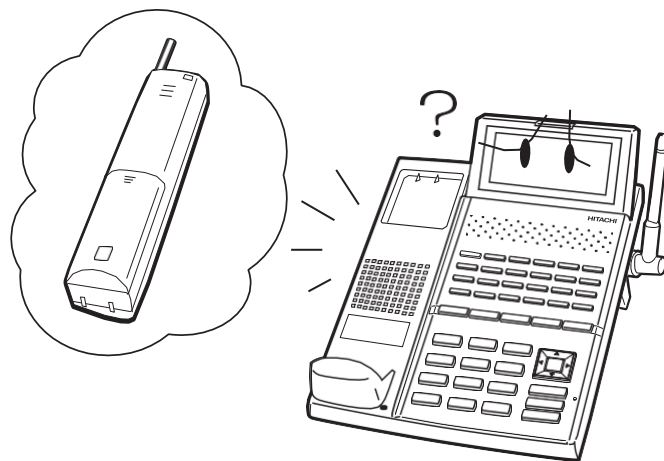
- ⑤ 「2 はい」を選び  を押す。

↓ 数秒後

- ⑥ 呼び出し音 (連続音) が鳴り始めます。

- ⑦ 親機から呼び出しを始めて約60秒後に鳴り止みます。

(子機のどれかのボタンを押したときも、呼び出し音は止まります)



ご注意

- 子機の充電電池が放電しきっていると呼び出し音は鳴りません。
- 子機のボタンで呼び出し音を止めた直後は、親機からの再呼び出しはできません。

充電電池について

子機の充電警報について

ご注意

- 電池残量が少なくなると、ディスプレイに「充電して下さい」と表示されます。通話中は「ピピピ」と音が鳴りますので、通話を終了し、すぐに充電してください。
- 長時間電話帳などの登録作業を行うと、子機を使用できる時間が短くなります。
- 待機中に「ピー」と音が鳴った場合はすぐに充電してください。

充電電池の取り扱いについて

ご注意

- 使用済みの充電電池は火の中に投げ入れないでください。爆発する恐れがあり、大変危険です。
- 充電電池はショートさせないでください。
- 充電電池が完全になくなったまま放置しておくと、電池寿命が短くなってしまいます。「充電して下さい」と表示されたら必ず充電してください。
- 充電電池が完全になくなると、ディスプレイに何も表示されなくなります。子機を親機に乗せて充電してください。
- 長期間（1～2ヶ月以上）使用しない（子機を充電しない）ときは充電電池の劣化を防ぐため、充電電池を取り外してください。

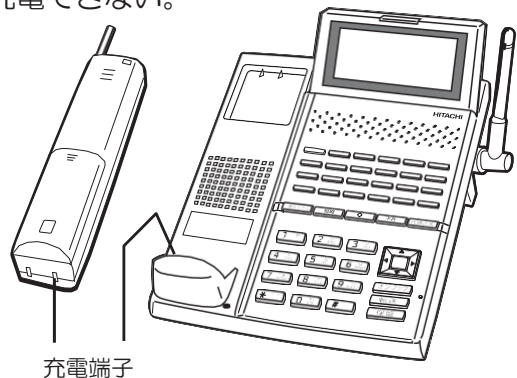
充電端子のお手入れについて

ご注意

- 充電端子が汚れていると、下記のような障害が起こることがあります。

<障害>

- ・充電時間が長くなる。
（ランプが時々点灯しない）
- ・充電できない。

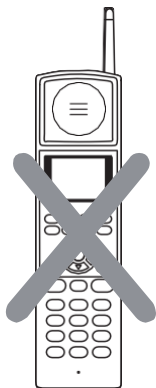


汚れたら、きれいな水、市販のエチルアルコール（薬局等で市販）、またはクリーニング液（カセットデッキのヘッドクリーニング用液）を含ませたきれいな布で子機、親機の端子を拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。月に一度はお手入れをしてください。

停電のとき

子機は、停電（交換機に搭載されているバッテリーからの給電が断たれた場合も含む）になると通話できなくなります。停電直通用電話機（TELPF／TELPFI）をご使用ください。

子機



停電直通用電話機



1. ご使用にあたって（つづき）

充電電池の取り付け方（交換のしかた）

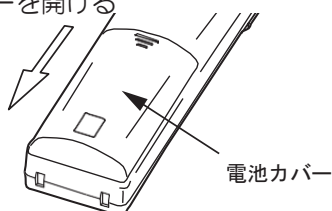


ニッケル水素電池はリサイクルへ

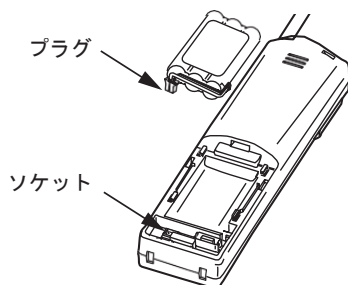
子機は、ニッケル水素電池を使用しています。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換および廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。
※本文中の充電電池とは、ニッケル水素電池のことです。

充電電池の取り付け方（交換のしかた）

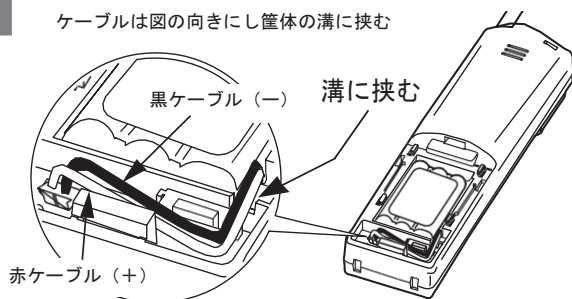
1 電池カバーを開ける



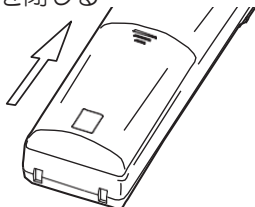
2 充電電池を出してプラグを抜く



3 新しい充電電池を入れプラグを差す ケーブルは図の向きにし筐体の溝に挟む



4 電池カバーを閉じる



ご注意

- 充電電池のプラグを子機のソケットに差し込むときには向きなど間違えないようにして、しっかり差し込んでください。
- 専用の充電電池以外は使用しないでください。故障の原因となります。
- 充電電池は使い方によって異なりますが、約1年使用できます。充電電池を交換するときは、お買い上げの販売店にて専用充電電池をお買い求めください。
- 電池フタを閉じるときに、ケーブルを挟まないようにしてください。

充電電池の充電のしかた

1 充電電池を子機に取り付けて、充電をする



- 子機を親機に正しく乗せることで充電できます。
- 充電中は親機の充電中ランプが点灯します。

補足説明

- 満充電されても、充電ランプは消えません。
- 長期間子機を使用しない場合は、充電電池を外すことをおすすめします。
- 完全に放電した充電電池を満充電とするには約12時間以上の充電が必要です。
- 満充電後の子機使用時間は次の通りです。（なお、充電電池の寿命に近くに従って満充電後の子機使用時間は短くなります）
連続通話時間：約5時間
待機時間：約200時間（親機に乗せていない状態）

ご注意

- お買い上げの際には、まず充電電池を子機に取り付けて、充電を行ってください。
- 充電電池のプラグは正しく接続してください。
- 子機に充電電池を取り付けない状態で、充電操作をしないでください。故障の原因となります。
- 充電電池のケーブルは筐体の溝に挟んでください。電池が筐体内で固定されます。

⚠ 危険

- 充電電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
- 外装カバー（被覆、チューブなど）をはがさないでください。
- 充電電池を分解しないでください。

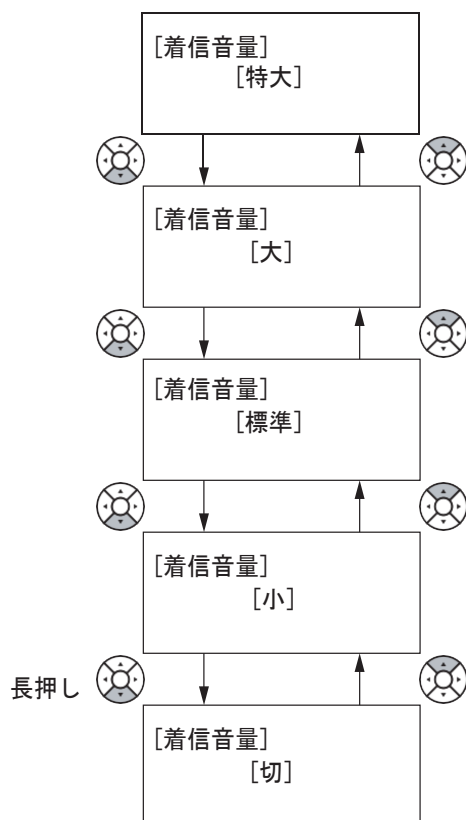
音量・ディスプレイの調節

子機の着信音量の調節

着信音量を5段階で調節することができます。
待機時または着信時に調節できます。

- 1** 待機時または着信中  または  ボタンを押す

- 着信音量が変わります。
- 着信音量の設定状態がディスプレイに表示されます。



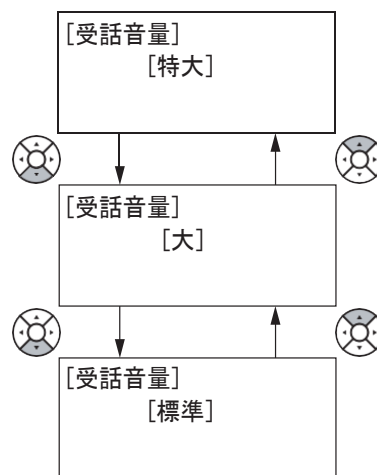
- [切]にするとディスプレイの最上行にSが表示されます。

子機の受話音量の調節

受話音量を3段階で調節することができます。
通話中に調節できます。

- 1** 通話中  または  ボタンを押す

- 子機の受話音量が変わります。
- 受話音量の設定状態がディスプレイに表示されます。



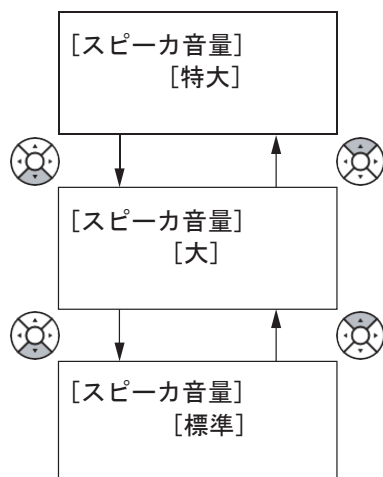
1. ご使用にあたって（つづき）

子機のスピーカ受話音量の調節

スピーカ受話音量を3段階で調節することができます。
スピーカ受話中に調節できます。

1 スピーカ受話中  または  ボタンを押す

- スピーカ受話音量が変わります。
- スピーカ受話音量の設定状態がディスプレイに表示されます。



子機のディスプレイの調節

ディスプレイのコントラストを6段階で調節することができます。設定が変わると、ディスプレイのコントラストも同時に変わります。

1  ボタンを押し、 または  ボタンを押して「音・表示設定」を選び、 ボタンを押す

1 電話帳
2 音・表示設定
3 システム設定

2  または  ボタンを押して「表示コントラスト」を選び、 ボタンを押す

1 キータッチ音
2 表示コントラスト
3 電話番号表示

3  または  ボタンを押す

[表示コントラスト]
3 ■■■■
薄い 濃い

- コントラストが変化し、設定値が表示されます。
- 「■」の表示が多いほど濃くなります。

4 設定が終わったら  ボタンを押す

- 「ピー」と鳴り登録されます。
- 待機画面に戻るときは [切] ボタンを押します。

2. 基本的な使い方

親機の使い方

- 詳しくは、詳細取扱説明書 親機編をご覧ください。
- 基本的には、子機を親機から取り上げた状態が、カールコード付きの電話機でのハンドセットを上げた状態に相当します。ただし、子機を親機から取り上げても、子機が待機状態の場合には、親機はカールコード付きの電話機でのハンドセットを置いた状態に相当します。

外線に電話をかける

外線ボタンを押してかける

空いている外線を使って電話をかけることができます。

1 空いている外線ボタンを押す

- ・外線ランプ(緑)が点灯します。

2 相手の方の電話番号を押す

- ・電話番号が表示されます。

発信中
0312345678

3 相手の方が応答したら通話する

4 通話が終わったら[切]ボタンを押す

ご注意

- 外線ボタンを押したときは必ず外線発信音(ツ-)を確認してから電話番号を押してください。
- サブアドレスを付けて発信する場合は「相手の電話番号」+「X」+「サブアドレス」のようにダイヤルしてください。
- ボタン鳴動着信が入っている場合は上記の方法でかけてください。右記のプリセットダイヤル発信はできません。

補足説明

- 操作1の代わりに[保留](外発)ボタンを押すこともできます。
- フリーファンクションボタンに外線ボタンが割り当てられていることが必要です。
- 子機のフリーファンクションボタンは、親機のフリーファンクションボタン1~8に対応しています。
- 「X」+「短縮番号」で短縮ダイヤルによる発信ができます。バージョン59-01-00-00以降では、子機の「X」キーを「短縮キー」か「Xダイヤル」に設定ができます。この設定は取り付け時、販売店により設定されます。

ご注意

- 空いている外線ボタンを押したとき、ほぼ同時に着信があると着信に応答することがあります。この場合、着信に応答しても相手の方の番号は表示されません。代表契約など、同じ電話番号の外線ボタンが複数ある場合は、同じ電話番号の外線ボタンの小さい番号から着信しますので、大きい番号のボタンを押すと同時に着信を受けてしまう可能性が低くなります。
- 同時に複数の電話機が同じ外線ボタンを押したとき、外線ボタンが緑点灯しても外線を確保できない場合があります。このときは通話音(ツーツ-)が聞こえますので、[切]ボタンを押してから別の外線ボタンでかけ直してください。
- 電話を切った後も、使用していた外線ボタンのランプが消えた後、数秒間再点灯することがあります。
- サブアドレスを付けて発信する場合は、外線ボタンを押してからダイヤルしてください。

電話番号を表示してからかける(プリセットダイヤル)

相手の電話番号に間違いがないか確認するために表示してから電話をかけることができます。

1 相手の方の電話番号(最大24桁)を押す

- ・電話番号が表示されます。

0312345678

2 [保留](外発/文字)ボタンまたは外線ボタンを押す。

- ・しばらくすると呼び出し音が聞こえます。

発信中
0312345678

3 相手の方が応答したら通話する

4 通話が終わったら[切]ボタンを押す

ご注意

- 相手の方の電話番号を押した後は、約60秒以内に[保留](外発/文字)ボタンまたは外線ボタンを押してください。
- [保留](外発)ボタンを押すと、自動的に外線発信特番をダイヤルの先頭に付加し、空いている外線を選んで発信します。
- 子機の外線発信特番の設定が交換機の設定と同じであることをあらかじめ確認してください。
- [通話]ボタンで電話をかける場合は、電話番号の前に外線発信特番を押してからダイヤルしてください。

2. 基本的な使い方（つづき）

外線からの電話を受ける

通話ボタンを押して電話を受ける

個々の電話機への着信を子機で受けることができます。

1 着信音が聞こえたら「通話」ボタンを押す

2 相手の方と通話する

3 通話が終わったら「切」ボタンを押す

補足説明

- 子機が親機に乗っていないとき着信があった場合は、最初に親機が鳴動し、数秒後に子機が鳴動します。
- 「クイック通話」(P.33) がON（お買い上げ時）の設定の場合、親機に乗っている子機を取り上げるだけで通話になります。

ご注意

- 子機が親機に乗っている場合、子機の着信音は鳴りません。
- 外線着信に対して鳴動設定していない電話機の子機は、待機時であっても外線着信音は鳴りません。
- 外線着信などのときに、鳴動設定された他の子機が待機中であった場合、電波で親機とつながったものから順に着信音を鳴らし始めます。そのため、複数台同時に鳴動しない場合があります。

外線ボタンを押して電話を受ける

グループ（外線ボタン）への着信を子機で受けることができます。

1 外線ボタンが赤の高速点滅したら、その外線ボタンを押す

2 相手の方と通話する

3 通話が終わったら「切」ボタンを押す

補足説明

- 他の方が先に応答した場合は、「ツーツーツー」という音がしますので、「切」ボタンを押してください。

ご注意

- フリーファンクションボタンに外線ボタンが割り当てられている必要があります。
- 子機のフリーファンクションボタンは、親機のフリーファンクションボタン1～8に対応しています。
- グループ（外線ボタン）への着信と個々の電話機への着信が同時の場合、外線ボタンを押しても、個々の電話機への着信に応答します。

通話を保留する

保留する(自己保留)

1 通話中に(保留)ボタンを押す

- 相手の方には保留音が流れます。

ご注意

- 自己保留後に [切] ボタンを押した場合は、呼び返しになり、再び着信音が鳴ります。
- 交換機の種類、設定によって子機保留ボタン押下時の動作が異なります。販売店に確認してください。

自己保留を解除して応答する

1 (保留)ボタンを押す

2 相手の方と通話する

3 通話が終わったら(切)ボタンを押す

2. 基本的な使い方（つづき）

通話を他の人に転送する

内線に転送する

転送先を呼び出し、転送することを伝えてから子機の
[切] ボタンを押します。

1 通話中に 転送/クリア ボタンを押す

- ・スペシャルダイヤルトーン(ツツツツツ)が聞こえます。
- ・相手の方には保留音が聞こえます。

2 転送先の内線番号を押す

3 呼出先が応答したら用件を伝える

4 [切] ボタンを押す

- ・呼出先に転送されます。

補足説明

- 操作1～3のとき、再度[転送] ボタンを押すと通話に戻れます。

自分がかけた相手の方に向け直す(発信履歴)

発信履歴から電話をかける

電話をかけた相手方の電話番号や名称は、最新のものから最大20件まで記憶されています。記憶されている電話番号に向け直すことができます。

1 ボタンを押す

- 最新の履歴が表示されます。
＜発信履歴表示＞

1行目：履歴番号、日時
2行目：電話番号
3行目：相手の名称

発01 10/1 AM10:00
0312345678
日立太郎

- 子機の電話帳から発信した履歴には、相手の名称も記憶されています。

2 または ボタンを押して 電話をかけたい履歴を表示させる

3 ボタンを押す

- [通話] ランプが点灯し、選択されている番号にダイヤルされます。
- 履歴の電話番号に外線発信特番が付いていない場合は、[保留](外発)ボタンを押すと子機で登録した外線発信特番を先頭に付与して発信できます。

4 相手の方と通話する

5 通話が終わったら ボタンを押す

補足説明

- 途中で中止するときは[切] ボタンを押します。
- 発信履歴を消去するときは
 - 1.操作1、2で、消去する相手の番号を表示させる。
 2.  ボタンを押す。
 - 3.「発信履歴1件消去」または「発信履歴全件消去」を選び  ボタンを押す。
 - 4.「はい」を選び  ボタンを押す。
 - 5.「履歴を消去しました」と表示されます。
- 履歴に特番が付いていない場合は、[保留](外発/文字)ボタンではなく対応する外線ボタンを押しても発信できます。

ご注意

- 発信履歴に記憶された相手先が20件を超えると、日時の古いものから上書きされます。
- 発信履歴が1件も無いときは、「発信履歴がありません」と表示されてエラー音が鳴ります。
- 履歴は子機が記憶しています。システム側や親機の履歴機能は利用できません。
- 親機でダイヤル操作した場合は、子機の履歴に記憶されません。
- 子機の電話帳に登録されていても、ダイヤルボタンを押して番号をダイヤルした履歴には、相手の名称は記憶されません。
- 操作中に電話がかかってくると、操作が無効となり通話となります。通話が終わったあとでもう一度やり直してください。
- 外線ボタンを押して発信した履歴には、外線ボタン(特番)は残りません。 次回の履歴発信の時は外線ボタンを押して発信してください。
- 外線ボタンに着信している場合は、子機は着信状態となっているため、履歴を選んでから[通話]ボタンを押す発信はできません。[通話]ボタンを押してから一定時間内に履歴を選択して発信してください。

2. 基本的な使い方（つづき）

電話をかけてきた方につけ直す(着信履歴)

着信履歴から電話をかける

ISDN回線やナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能をご利用の場合、電話をかけてきた相手方の電話番号や名称が、最新のものから最大20件まで記憶されます。また、記憶されている電話番号につけ直すことができます。

1 ボタンを押す

- 最新の着信履歴が表示されます。
＜着信履歴表示＞

1行目：履歴番号、日時
2行目：電話番号
3行目：相手の名称

着01 10/1 AM10:00
0312345678
日立太郎

- 相手が電話帳に登録されている場合は、相手の名称も表示されます。

2 または ボタンを押して 電話をかけたい履歴を表示させる

3 (通話) ボタンを押す

- [通話] ランプが点灯し、選択されている番号にダイヤルされます。
- 履歴の電話番号に外線発信特番が付いていない場合は、[保留](外発) ボタンを押すと子機で登録した外線発信特番を先頭に付与して発信できます。

4 相手の方と通話する

5 通話が終わったら ボタンを押す

補足説明

- 途中で中止するときは[切] ボタンを押します。
- 着信履歴を消去するときは
 1. 操作1、2で、消去する相手の番号を表示させる。
 2.  ボタンを押す。
 3. 「着信履歴1件消去」または「着信履歴全件消去」を選び  ボタンを押す。
 4. 「はい」を選び  ボタンを押す。
 5. 「履歴を消去しました」と表示されます。
- 履歴に特番が付いていない場合は、[保留](外発/文字) ボタンではなく対応する外線ボタンを押しても発信できます。

ご注意

- 着信履歴に記憶された相手先が20件を超えると、日時の古いものから上書きされます。
- 着信履歴が1件も無いときは、「着信履歴がありません」と表示されてエラー音が鳴ります。
- 履歴は子機が記憶しています。システム側や親機の履歴機能は利用できません。
- 外線ボタンへの着信に応答した場合は履歴に電話番号は残りません。
- 外線ボタンに着信が入っている場合は、子機が着信状態になっているため、履歴を選んでから[通話] ボタンを押す発信はできません。[通話] ボタンを押してから一定時間内に履歴を選択して発信してください。

内線に電話をかける

内線の相手を呼び出すときは、着信音で呼び出す方法と音声で呼び出す方法があります。

通話ボタンを押してかける

1 (通話)ボタンを押す

・内線発信音（ツツツ・・・）が聞こえます。

2 相手の内線番号を押す

3 相手の方が応答したら通話する

4 通話が終わったら (切) ボタンを押す

内線番号を表示してからかける(プリセットダイヤル)

相手の方の電話番号に間違いがないか確認するために表示してから電話をかけることができます。

1 相手の内線番号を押す

1234

・電話番号が表示されます。

2 内線番号を表示中に (通話) ボタンを押す

3 相手の方が応答したら通話する

4 通話が終わったら (切) ボタンを押す

音声による呼び出し

1 (通話)ボタンを押す

・内線発信音（ツツツ・・・）が聞こえます。

2 相手の内線番号を押す

3 (×〃〇) ボタンを押す

・相手の電話機に（プー）と冒頭音がでます。

4 「〇〇さん」と呼びかける

5 相手の方が応答したら通話する

6 通話が終わったら (切) ボタンを押す

ご注意

- 音声で呼び出された場合には相手の親機だけが音声呼び出しされます。
- 音声で呼び出された場合は、相手の子機は鳴動しませんが、[通話]ボタンを押すことにより応答することができます。
- [切]ボタンを押さないと、親機と子機は無線でつながった状態を継続し、充電電池を消耗してしまいますのでご注意ください。

補足説明

- 相手内線番号を押してから [通話] ボタンを押しても音声による呼び出しはできます。

2. 基本的な使い方（つづき）

内線からの電話を受ける

内線の着信に応答する

内線からの着信を受けることができます。

1 着信音が鳴ったら(通話)ボタンを押す

着信中
1111
日立

- ・内線名称が登録されているときは、名称も表示されます
- ・子機の電話帳に登録されているときは、子機の電話帳の登録名称を優先して表示します。

2 相手の方と通話する

3 通話が終わったら(切)ボタンを押す

補足説明

- 「クイック通話」(P.33) がONの場合（お買い上げ時）
親機にのっている子機を取り上げるだけで通話になります。

3. 子機の電話帳を使う

電話帳を登録する

電話帳を登録する

100件の名前(漢字名称、カナ名称とグループ)と、1件につき2つの電話番号を登録できます。グループを分けて登録すると、グループごとに電話帳検索ができます。

- 1  ボタンを押し  または  ボタンを押し「電話帳」を選び  ボタンを押す

1 電話帳
2 音・表示設定
3 システム設定

- 2  または  ボタンを押し「電話帳登録」を選び  ボタンを押す

1 電話帳登録
2 電話帳ダウンロード
3 電話帳残件表示

- 3 ダイヤルボタンで、相手の方の名称を入力する(P.24参照)

[名称入力]
日立たろう [漢字]

- ・漢字入力以外にカタカナ(全角・半角)、アルファベット(大文字・小文字)、数字、記号も入力できます。
- ・名称入力は「文字入力方法(P.24)」を参照してください。

- 4  ボタンを押す

- ・確定されます。

- 5 読み仮名を確認する

[読み仮名入力]
ヒタ タロウ [半カナ]

- ・自動で読み仮名が入力されます。変更可能です。

- 6  ボタンを押す

- ・確定されます。

- 7 ダイヤルボタンで、相手の方の電話番号を入力する

[電話番号1入力]

0312345678 ■

- ・24桁まで入力できます。

- 8  ボタンを押す

- ・確定されます。
- ・電話番号2も続けて入力できます。

- 9 ダイヤルボタンで、グループ番号を入力する

[グループ選択]
グループ 1

- 10  ボタンを押す

日立太郎
0312345678

- ・電話帳に登録されます。
- ・待機画面に戻るときは[切] ボタンを押します。

補足説明

- 途中で中止するときは[切] ボタンを押します。

ご注意

- 電話番号は、電話番号1 を登録しないと電話番号2に登録することができません。
- 同じ電話番号を重複して複数の電話帳に登録しないでください。
- 上記の操作では、親機の電話帳には登録できません。

3. 子機の電話帳を使う(つづき)

文字入力方法

■「漢字」モードで入力する

1 文字入力の状態になったら・・・

- ・3行目に現在の入力モードが表示されます。
- ・[保留] (外発/文字) ボタンを押して「漢字」を選びます。

[名称入力]
■ [漢字]

2 ダイヤルボタンで、文字を入力する

- ・ダイヤルボタンと文字の関係は補足説明「文字入力表」(P.25)を参照してください。
- ・例)87を押した場合(“やま”が入力されます)

[名称入力]
やま [漢字]

3 または ボタンを押して文字を変換する

- ・カーソル上の入力した文字が変換されます。
 - ・漢字変換中に[転送/クリア]ボタンを押すと、カーソル上の文字がひらがなに戻ります。
- もう一度[転送/クリア]ボタンを押すとカーソル上の文字が1文字消去されます。

[名称入力]
山 [漢字]

4 ボタンを押して変換した文字を確定する

■「半カナ」「半英」「半数」モードで入力する

1 文字入力の状態になったら・・・

- ・3行目に現在の入力モードが表示されます。
- ・[保留] (外発/文字) ボタンを押して「半カナ」「半英」「半数」の中から選びます。
- ・例) 半カナを選択した場合

[名称入力]
■ [半カナ]

2 ダイヤルボタンで、文字を入力する

- ・ダイヤルボタンと文字の関係は補足説明「文字入力表」(P.25)を参照してください。
- ・例)87を押した場合(“ヤマ”が入力されます)

[名称入力]
ヤマ [半カナ]

補足説明

- 入力を間違えたときは・・・
- ・ か  ボタンを押す。
- ・カーソルを間違えた文字に移動させ、[転送/クリア]ボタンを押す。
- 同じ行の文字を続けて入力するときはカーソルを右へ移動させてから入力してください。

補足説明

<文字入力表>

入力モード 入力ボタン	漢字 全角ひらがなを入力して 漢字に変換させるモード	半加 半角カタカナを 入力するモード	半英 半角の英字、記号を 入力するモード	半数 半角の数字、記号を 入力するモード
①あ	あいうえお あいうえお	アイウエ アイウエ	@	1
②か ABC	かきくけこ	カキクコ	A B C a b c	2
③さ DEF	さしすせそ	サシセソ	D E F d e f	3
④た GHI	たちつてと っ	タチツト ッ	G H I g h i	4
⑤な JKL	なにぬねの	ナニネノ	J K L j k l	5
⑥は MNO	はひふへほ	ハヒフホ	M N O m n o	6
⑦ま PQRS	まみむめも	マミムモ	P Q R S p q r s	7
⑧や TUV	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	T U V t u v	8
⑨ら WXYZ	らりるれろ	ラリルロ	W X Y Z w x y z	9
⑩わ 記号	わをん ー・、。	ワヲ ー・、。	’- : () スペース(空白)	0
* ^ゝ °	ゝ °	ゝ °	*	*
#			#	#
	カーソル上のひらがなを 漢字に変換します			
	カーソル(■)を左へ移動します			
	カーソル(■)を右へ移動します			
転送/クリア 	カーソル上の文字を1文字消去します			
切	入力を中断します (入力画面を閉じます)			
	文字を確定します 入力を終了します	入力を終了します		
保留 外発/文字	(変換中は文字を確認し) 入力モードを切り替えます	入力モードを切り替えます		

3. 子機の電話帳を使う(つづき)

電話帳を検索する

子機の電話帳に登録した相手の方を全検索、名称検索、グループ検索で表示できます。登録された相手先の「読み」順に並べ替えられて表示されます。

全検索で相手を表示させる

子機の電話帳に登録した相手の方を全員表示させることができます。

1 電話帳  ボタンを押す

1 全検索
2 名称検索
3 グループ検索

2  または  ボタンを押して「全検索」を選び  ボタンを押す

1 全検索
2 名称検索
3 グループ検索

3  または  ボタンを押し、相手の方を表示させる

日立太郎
0312345678

・選択されている電話番号が白黒反転表示します。

補足説明

●登録件数が多いときは、操作3で  または  ボタンを押し続けるとスクロールで次の相手の方を表示します。

名称検索で相手を表示させる

子機の電話帳に登録した相手の方を登録名称で検索することができます。

1 電話帳  ボタンを押す

1 全検索
2 名称検索
3 グループ検索

2  または  ボタンを押して「名称検索」を選び  ボタンを押す

1 全検索
2 名称検索
3 グループ検索

3 ダイヤルボタンで検索する相手の方の名称を入力し、 ボタンを押す

[名称検索]
[半か]

4  または  ボタンを押し、相手の方を表示させる

日立太郎
0312345678

・選択されている電話番号が白黒反転表示します。

補足説明

●登録件数が多いときは、操作4で  または  ボタンを押し続けるとスクロールで次の相手の方を表示します。

グループ検索で相手を表示させる

子機の電話帳に登録した相手の方をグループ番号で検索することができます。

1

電話帳

 ボタンを押す

1 全検索
2 名称検索
3 グループ検索

2

 または  ボタンを押して「グループ検索」を選び、 ボタンを押す

1 全検索
2 名称検索
3 グループ検索

3

ダイヤルボタンでグループ番号を入力し、
 ボタンを押す

[グループ検索]
グループ**1**

4

 または  ボタンを押し、相手の方
を表示させる

日立太郎
0312345678

・選択されている電話番号が白黒反転表示します。

補足説明

- 登録件数が多いときは、操作4で  または  ボタン を押し続けるとスクロールで次の相手の方を表示します。
- 操作3で、[0]を入力して「グループ0」で検索すると全検索になります。

3. 子機の電話帳を使う(つづき)

電話帳で電話をかける

電話帳で電話をかける

1 相手の方を表示させる

- ・検索で電話をかける相手番号を選択します。

日立太郎
00312345678

2 (通話) ボタンを押す

- ・ボタンが点灯し、選択されている電話番号にダイヤルされます。

発信中
00312345678
日立太郎

3 相手の方が応答したら通話する

4 通話が終わったら(切) ボタンを押す

補足説明

- 電話帳の電話番号に特番が付いていない場合は、対応する外線ボタンを押して発信できます。

ご注意

- 電話帳の電話番号に外線発信特番が付いていない場合は、[保留]（外発/文字）ボタンを押すと子機で登録した外線発信特番を先頭に付与して発信できます。
- 外線ボタンに着信が入っている場合は、子機は着信状態になっているため、電話帳を選んでから[通話] ボタンを押す発信はできません。[通話] ボタンを押してから一定時間内に電話帳を選択して発信してください。

電話帳を修正／消去する

子機の電話帳に登録した内容を修正したり、消去することができます。電話帳から該当するものを検索したあと、電話帳の修正や消去を行います。親機の電話帳は修正／消去できません。

登録した内容を修正する

電話帳に登録した内容を修正することができます。

1 相手の方を表示させる

日立太郎
0312345678

2 ボタンを押し または ボタンを押して「電話帳編集」を選び ボタンを押す

1 電話帳編集
2 電話番号 1 件消去

3 ダイヤルボタンで修正内容を入力する

- 読み仮名、電話番号1、2、グループ番号も修正できます。
- 修正内容が上書きされます。
- 待機画面に戻るときは[切] ボタンを押します。

登録した電話帳を消去する

電話帳に登録した相手の方を消去することができます。

1 相手の方を表示させる

日立太郎
0312345678

2 ボタンを押し、 または ボタンを押して「電話番号1件消去」を選び、 ボタンを押す

1 電話帳編集
2 電話番号 1 件消去

3 「電話番号消去しますか」と表示されるので または ボタンを押して「はい」を選択し ボタンを押す

電話番号消去しますか
－はい
－いいえ

4 「電話番号消去しました」と表示される

- 待機画面に戻るときは[切] ボタンを押します。

3. 子機の電話帳を使う(つづき)

親機の電話帳を子機に転送する

親機に登録されているメモリ番号の指定した番号から連続した100件分の内容を、子機に転送することができます。転送の操作はすべて子機で行います。

親機の電話帳を子機に転送する

- 1 ボタンを押し または ボタンを押して「電話帳」を選び ボタンを押す

1 電話帳
2 音・表示設定
3 システム設定

- 2 または ボタンを押して「電話帳ダウンロード」を選び ボタンを押す

1 電話帳登録
2 電話帳ダウンロード
3 電話帳残件表示

- 3 ダイヤルボタンで開始番号を押し ボタンを押す

開始番号？
000

- ・開始番号は1～401までの番号を入力するようにしてください。

- 4 または ボタンで「はい」を選び ボタンを押す

転送開始しますか
－はい
－いいえ

- 5 すでに電話帳に登録されていると「上書きしますか」と確認してくるので、上書きするときは または ボタンで「はい」を選び ボタンを押す

上書きしますか
－はい
－いいえ

- ・上書きすると現在登録されている電話帳は消去され、親機の電話帳が上書きされます。

- 6 ダウンロードが開始される

ダウンロード中

>> >> >>

- 7 電話帳データ転送が終了すると次のように表示する

ダウンロード終了

- ・「ピー」と鳴り登録されます。
- ・待機画面に戻るときは[切] ボタンを押します。

補足説明

- 途中で中止するときは[切] ボタンを押してください。
- 失敗すると中止表示をし、「ピピピ」と鳴ります。
- 転送が失敗した場合は[切] ボタンを押して操作1からやり直してください。

ご注意

- 転送準備の処理中は「ダウンロード開始」と表示されます。実際に転送がはじまると「ダウンロード中」と表示されます。
- 転送を行うと、子機に登録していた電話帳は消去され、親機の電話帳が上書きされます。（「ダウンロード開始」表示中は消去されません）
- 転送を行うときは、100件分のメモリ番号の最後尾までは転送されます。開始番号に注意してください。
- 親機の電話帳に1件も登録されていないときも100件分のダウンロードと同じ時間がかかります。

電話帳の登録残件数を表示する

電話帳の登録残件数を表示する

電話帳データの登録残件数を表示することができます。

- 1**  ボタンを押し、 または  ボタンを押し、「電話帳」を選び、 ボタンを押し

1 電話帳
2 音・表示設定
3 システム設定

- 2**  または  ボタンを押し、「電話帳残件表示」を選び、 ボタンを押し

1 電話帳登録
2 電話帳ダウンロード
3 電話帳残件表示

- 3** 電話帳の登録残件数を表示する

電話帳残件
残り 25件/100件

・ 待機画面に戻るときは [切] ボタンを押します。

4. いろいろな設定・登録

機能を選択する

ボタンを押したときの音を設定する

ボタンを押したとき、音を鳴らすか鳴らさないかを設定することができます。お買い上げ時は、「ON」(鳴らす)に設定されています。

- 1 ボタンを押し または ボタンを押して「音・表示設定」を選び ボタンを押す

1 電話帳
2 音・表示設定
3 システム設定

- 2 または ボタンを押して「キータッチ音」を選び ボタンを押す

1 キータッチ音
2 表示コントラスト
3 電話番号表示

- 3 または ボタンを押して「ON」または「OFF」を選び、 ボタンを押す

[キータッチ音]
- ON
- OFF

- 「ピー」と鳴り登録されます。
- 待機画面に戻るときは [切] ボタンを押します。

電話番号の表示方法を設定する

着信中のナンバーディスプレイ表示を半角表示か全角表示かを設定することができます。お買い上げ時は、「半角表示」に設定されています。

- 1 ボタンを押し または ボタンを押して「音・表示設定」を選び ボタンを押す

1 電話帳
2 音・表示設定
3 システム設定

- 2 または ボタンを押して「電話番号表示」を選び ボタンを押す

1 キータッチ音
2 表示コントラスト
3 電話番号表示

- 3 または ボタンを押して「半角表示」または「全角表示」を選び、 ボタンを押す

[電話番号表示]
- 半角表示
- 全角表示

- 「ピー」と鳴り登録されます。
- 待機画面に戻るときは [切] ボタンを押します。

電話をすばやく受ける(クイック通話)

電話をかけるときや受けるときに、子機を親機から取り上げるだけで自動的につながることができます。お買い上げ時は、「ON」(クイック通話する)に設定されています。

- 1  ボタンを押し  または  ボタンを押し「システム設定」を選び  ボタンを押す

1 電話帳
2 音・表示設定
3 システム設定

- 2  または  ボタンを押し「クイック通話」を選び  ボタンを押す

1 クイック通話
2 受話音高域カット
3 外線発信特番登録

- 3  または  ボタンを押し「ON」または「OFF」を選び  ボタンを押す

[クイック通話]
- ON
- OFF

- 「ピー」と鳴り登録されます。
- 待ち受け画面に戻るときは [切] ボタンを押します。

受話音高域カット機能を設定する

通話中にキンキンするような音が聞こえて話しづらくなる場合は、受話音高域カット機能を設定することにより、相手の声が聞きやすくなります。お買い上げ時は、「OFF」(高域カットしない)に設定されています。

- 1  ボタンを押し  または  ボタンを押し「システム設定」を選び  ボタンを押す

1 電話帳
2 音・表示設定
3 システム設定

- 2  または  ボタンを押し「受話音高域カット」を選び  ボタンを押す

1 クイック通話
2 受話音高域カット
3 外線発信特番登録

- 3  または  ボタンを押し「ON」または「OFF」を選び  ボタンを押す

[受話音高域カット]
- ON
- OFF

- 「ピー」と鳴り登録されます。
- 待ち受け画面に戻るときは [切] ボタンを押します。

補足説明

●操作3の設定内容について・・・

「ON」：子機を親機から取り上げるだけで自動的に通話になります。

「OFF」：子機を親機から取り上げても [通話] ボタンを押すまでつながりません。

●子機を親機に置くと、設定にかかわらず通話が切れます。

4. いろいろな設定・登録（つづき）

子機の機能を選択する

[保留]ボタンは、外線発信特番を相手電話番号に付加して発信するボタンです。子機でプリセットダイヤル後[保留]ボタンを押すことでかけたい電話番号に外線発信特番を付加し、自動的に空き外線でダイヤルします。電話帳から選んで発信する時など便利です。

外線発信特番ボタン(外発ボタン)について

■外線発信特番の変更方法

子機の外線発信特番は初期値で0が設定されています。交換機の設定によっては外線発信特番が異なる場合があります。ここでは子機に登録されている外線発信特番の変更方法を記載します。

- 1**  ボタンを押し  または  ボタンを押して「システム設定」を選び  ボタンを押す

1 電話帳
2 音・表示設定
3 システム設定

ご注意

- 0～9の1桁のみ登録可能です。2桁以上、「*」、「#」は登録できません。

- 2**  または  ボタンを押して「外線発信特番登録」を選び  ボタンを押す

1 クイック通話
2 受話音高域カット
3 外線発信特番登録

- 3** 交換機の外線発信特番をダイヤルボタンで入力し  ボタンを押す

[外線発信特番]
特 番 **0**

- ・「ピー」と鳴り登録されます。
- ・待ち受け画面に戻るときは[切]ボタンを押します。

お買い上げ時の設定に戻す(リセットする)

お買い上げ時の設定に戻す(リセットする)

設定したいろいろな機能を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。この操作をしても、電話帳に登録した電話番号は消えません。

- 1  ボタンを押し  または  ボタンを押し「システム設定」を選び  ボタンを押し

1 電話帳
2 音・表示設定
3 システム設定

- 2  または  ボタンを押し「設定リセット」を選び  ボタンを押し

4 設定リセット

- 3  または  ボタンを押し「はい」を選び  ボタンを押し

〔設定リセット〕
—はい
—いいえ

- 「リセットしました」と表示されます。
- 「いいえ」を選んだ場合は「リセット中止しました」と表示されます。
- 待機画面に戻るときは [切] ボタンを押します。

5. その他・ご参考

停電のときのご注意

- 停電(交換機に搭載されているバッテリーからの給電が断たれた場合も含む)になると通話できなくなります。
- 通話中に停電になると通話は切れます。ただし、設定、登録している内容は消えません。

故障かな?と思ったら

電話がかからない、電話が故障かな?と思ったら、以下の点をお調べください。また、この説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

電話をかけるとき

こんなとき	こんな理由では?	お確かめください
電源が入らない 動作しない	・充電電池が充電されていないと子機が使用できません。	・親機に載せて十分充電してください。
	・充電電池が正しく装着されていないと子機が使用できません。	・充電電池を正しく装着してください。
	・親機の回線コードが外れていると使用できません。	・回線コードをモジュージャックに確実に差し込んでください。
	・充電端子が汚れていると、充電できません。	・充電端子の汚れを定期的にお手入れしてください。 ・親機に載せたとき、充電中ランプが点灯することを確認してください。
電話がかかけられない	・周囲に障害電波があると、電波が届かないときがあります。	・近くに雑音を発生する家電製品やOA機器がある場合は、それらの機器からできるだけ離して使用してください。
	・親機と遠く離れすぎていたり、親機との距離が近くても周囲の環境で、電波が弱くなる場合があります。	・親機の位置やアンテナの向き、子機の使用場所などを変えてみてください。

電話がかかってきたとき

こんなとき	こんな理由では？	お確かめください
子機が鳴らない	充電電池が充電されていないと子機が使用できません。	親機に載せて十分充電してください。
	充電電池が正しく装着されていないと子機が使用できません。	充電電池を正しく装着してください。
	親機の回線コードが外れていると使用できません。	回線コードをモジュラージャックに確実に差し込んでください。
	充電端子が汚れていると、充電できません。	- 充電端子の汚れを定期的にお手入れしてください。 - 親機に載せたとき、充電中ランプが点灯することを確認してください。
	周囲に障害電波があると、電波が届かないことがあります。	近くに雑音を発生する家電製品やOA機器がある場合は、それらの機器からできるだけ離して使用してください。
	親機と遠く離れすぎていたり、親機との距離が近くても周囲の環境で電波が弱くなる場合があります。	親機の位置やアンテナの向き、子機の使用場所などを変えてみてください。
	着信音量を「切」に設定してあると鳴動しません。	設定を確認してください。子機が鳴らなくても、外線ボタンを押せば普通に応答できます。
	子機を親機に載せて充電中の場合は子機の着信音は鳴りません。	子機が鳴るのは親機に載せていない場合です。

5. その他・ご参考（つづき）

通話をしているとき

こんなとき	こんな理由では？	お確かめください
「ピピピ」と鳴り、約1分後に切れる	充電電池が切れそうな状態を知らせています。（要充電警報です）	- 十分に充電してから使ってください。（12時間以上の充電をお勧めします） - 親機に載せ、充電中ランプが点灯することをお確かめください。 - 十分充電しても同じ現象となる場合は、充電電池の劣化が考えられます。販売店にご連絡ください。
「プププ・・・プププ」と鳴り、約30秒後に切れる	- 親機と離れすぎると警報音が約30秒間鳴り続き、通話を切ります。（通話圏外警報です） - 親機との距離が短かくても周囲の環境で電波が弱くなる場合があります。	「プププ・・・プププ」と警報音が鳴っている間に親機に近づいてお話しください。
通話が時々とぎれる	周囲に障害電波があると、電波が届かないときがあります。	近くに雑音を発生する家電製品やOA機器がある場合は、それらの機器からできるだけ離して使用してください。

全般

こんなとき	こんな理由では？	お確かめください
使用できない	- 単独電話機の回線コードでは使用できません。 - 単独電話機の配線では使用できません	- 多機能電話機の回線コードを使用してください。 - 多機能電話機の配線を使用してください。
	親機の回線コードが確実に差し込まれていない。	回線コードを抜き差ししてしっかりと差し込んでください。それでも使用できない場合は販売店にご連絡ください。
充電電池が暖かい	充電電池が充電されたためです。	子機を充電すると多少温度が上がりますが故障ではありません。

設置場所について

- 電波を使用していますので、建物の構造や他の電気製品などの影響により雑音が入ったり、通話できなくなることがあります。
- 見通しの悪いところで使用したり、歩きながら使用したりすると、位置や方向によって雑音が入ったり、途切れたりすることがあります。
- 「お願い」(P.4)に記載してあるところで使用しますと、誤動作の原因となる場合がありますので、ご使用になる前に設置環境をお確かめください。
- 一般電話機やスピーカ、テレビ、ラジオなどの近くで利用すると、誤動作、雑音混入の悪影響を及ぼす原因となる場合がありますので注意してください。

充電について

- 子機は充電可能なニッケル水素電池を使用しています。子機および親機の充電端子が汚れていると充電できず、子機が動作しません。充電端子を定期的にお手入れしてください。
- お手入れ方法は「充電端子のお手入れについて」(P.11)を参照してください。

主な仕様

外観・仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。

	子機	親機
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	約48mm×181mm×35mm (アンテナおよび突起部を含まず)	約180mm×245mm×109mm (アンテナおよび突起部を含まず)
質量	約170g (充電電池を含む)	約770g
使用電源	専用ニッケル水素電池 DC3.6V	交換機より給電
環境条件	温度：0℃～40℃ 湿度：20%～85% (結露なきこと)	
連続通話時間	約5時間	—
連続待受時間	約200時間	—
充電完了時間	約12時間	—

ご注意

- 連続通話時間、連続待受時間は常温での算出です。周囲温度や充電電池の状態、使用環境によって変わります。
- 連続待受時間は、「」が表示されているときの電波が安定している場所における算出です。「」が表示されていないとき（電波の弱い場所や電波の届かない場所）や照明を点灯すると待受時間は短くなります。

